

巴の鏡 天正―元和編(第四卷完結編)

——御手洗一族物語—— 御手洗一而著

『巴の鏡』 応永―明応編(第一卷)が刊行されたのは、昭和五十三年三月であつた。以来九年間を費して完結編天正―元和編が刊行された。

御手洗一族を中心として、その主佐伯氏がえがかれ、大友氏も随所に顔を見せている。

御手洗氏を中心としたまぼろしの佐伯水軍も興味深いものがあつたが、佐伯氏が詳しく書かれているのは嬉しかった。主家大友氏の没落に順じて伊予に亡命したために、四百年佐伯地方に君臨し、独立国佐伯を形成した佐伯氏の資料が佐伯地方に乏しい今日、御手洗氏を通じて佐伯氏が詳述されているのはまことに有難い。佐伯の人々の是非一読したい書である。

参考までに佐伯史談会で取次いでいる御手洗一而氏の著書を掲げる。※印は残部僅少。

(塩月)

